

平成31(令和元)年度 博物館セミナー予定表

回数	期 日	時 間	講 師	タイトル	内 容
パネル展関連講演会	令和元年 6月2日(日)	13時30分～ 15時30分	石田 年子 氏	野田周辺の庚申塔	パネル展「野田周辺の石仏たち」に関連して、野田市域の庚申塔を中心に、石造物から読み取れる信仰の様相を紹介simasu。
1	8月25日(日)	13時30分～ 15時30分	松井 哲洋 氏	利根川高瀬船	かつて、利根川を行き来していた国内最大の川船・高瀬船。各地に残された船の部材、古文書、船図面、写真などの資料から、利根川高瀬船とはどのような船だったのかを、解き明かしていきます。
2	11月24日(日)	13時30分～ 15時30分	市川 幸男 氏	江戸時代に作られた河川・水路構造物について(主に関東地方)	江戸時代に整備された用水路や河川沿いなどに構築された各種の構造物について、仕組みや役割などについて紹介して参りたい。(例:野火止用水末端に作られた「いろは樋(とい)」、見沼代用水と元荒川交差部に作られた柴山伏越(ふせこし)、同じく綾瀬川との交差部に作られた瓦葺懸樋(かわらぶきかけどい)など) 特に、現在の天皇陛下が皇太子時代に行啓された見沼通船堀(閘門式運河)についても紹介いたします。
3	12月15日(日)	13時30分～ 15時30分	松丸 明弘 氏	利根川と江戸川の舟運—川船、河岸、河岸間道—	江戸時代、運送の主役は船であり、江戸川・利根川を様々な種類の荷を積んだ川船が活躍しました。この舟運について、河岸や河岸問屋の様子、鮮魚(なま)街道などと呼ばれた河岸と河岸とをつなぐ道、様々な川船などについて話をします。
4	令和2年1月12日(日)	13時30分～ 15時30分	新井 浩文 氏	戦国期における関宿周辺の河川普請再考	戦国時代の小田原北条氏による関宿城周辺の河川普請について、近年の旧利根川堤防跡の発掘成果等を交えながら再考します。
5	2月16日(日)	13時30分～ 15時30分	岩槻 秀明 氏	鷹菜の正体を探ろう—「菜の花」の分類—	春の土手を黄色く彩る「菜の花」。その「菜の花」の種類や見分け、生態などを紹介していきます。そして、関宿地域に伝わるアブラナ科野菜、鷹菜が、植物分類学上どの種類に位置づけられるか、考えてみたいと思います。
6	3月15日(日)	13時30分～ 15時30分	中村 正己 氏	戦国後北条氏による関宿城開城と在番衆	天正2年(1574)北条氏政は、古河公方の宿老で反北条氏家臣の中心的存在であった築田晴助、持助父子の籠る関宿城を囲み開城させ、築田氏は後北条氏に降伏しました。城は以降、北条氏政が命ずる在番衆によって天正18年(1590)松平康元が入封するまで支配されました。この間の、様々な歴史的史実を解き明かし紹介します。